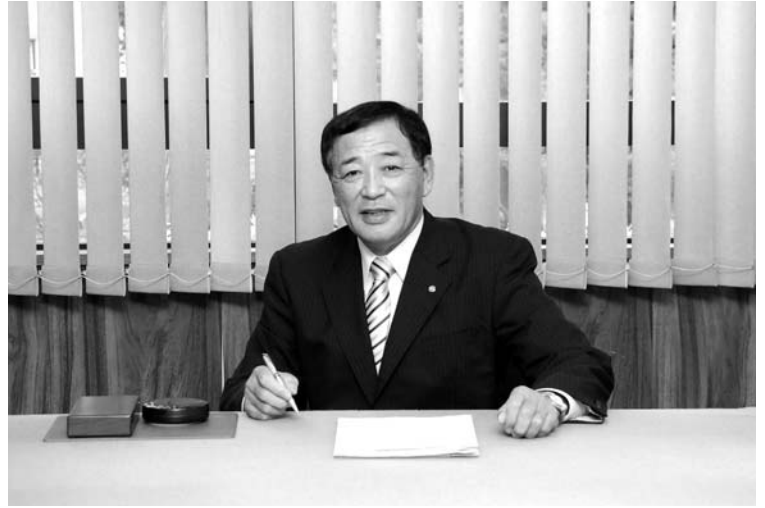


就任にあたって

「生まれてよかったまち・
住んでよかったまち」と
誰もが実感できるごかまちに

五霞町長 染谷 森 雄



二期目の就任にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

先の町長選挙におきまして、町民の皆様を始め、多くの方々の力強いご支援と暖かいご厚情を賜り、無投票にて再選の栄に浴し、引き続き、町政の重責を担わせていただくことになりました。

皆様からお寄せいただきました信頼と期待にお応えするため、新たな決意と情熱をもって、全力で町政運営に取り組んでまいります。

この度の東日本大震災により犠牲となられた多くの方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

本町においても、かつてない震度5強を記録し、屋根瓦の損壊等の物的被害が多く発生いたしました。幸いにも、人的被害はなく、安堵いたしております。

しかし、震災後における福島原発からの放射線による農産物への風評被害、夏場における電力不足への対応及び公共施設・道路等の損傷等への対応等、本町においても課題は山積みとなっておりますが、それらに対し一つ一つ情報の収集や分析に努め、迅速かつ的確な判断をくだしてまいります。

この震災により、人間の知識や進歩のはかなさと自然の脅威の底知れなさを改めて実感させられました。

この大震災の発生は、今までの国のかたちをどう見直すかを国民につけていく様に思われます。日本の国家自体が大きく変わる時代の転換期と捉えるとも言われています。

本町でも、この震災を教訓として、地域防災計画の更なる充実など、第5次五霞町総合計画における重点プロジェクトに位置づけました。災害に強いまちづくりを進め、町民の生命・財産を守る責務を果たしてまいります。

このような状況の中で二期目のスタートとなりましたが、一期の4年間は財政健全化の推進を始め、行財政改革・インター周辺開発等、確実に前進する事ができました。

町民の皆様のご協力に感謝申し上げます。

本町は、平成8年6月1日に町制を施行し、本年度15周年を迎えることとなりました。今後、4年間も「独立独歩の五霞町にあつたまちづくり」を執行するにあたり、「絆」をキーワードに町民との協働のまちづくりを更に前進させてまいります。主な取り組みとして、

一、町の最上位計画である第5次総合計画の実現を目指します

一、「絆」をキーワードに町民・事業所・行政が一体となりみんなで支え助けあう、安心・安全なまちづくり



5月2日初登庁(職員から花束をうける町長)

一、将来の姿を描きながら都市基盤の整備

一、人にやさしい政治の実現、「命の大切さ」のため医療の充実

一、IC周辺開発、道の駅等ごかの顔づくり、地域産業の活性化

一、地方自治体も運営から経営の時代、経営視点の取り組み

これらの実践、達成に向け、議会の協力も得て、これからの4年間で、専心努力してまいります。ご理解ご支援ご協力を賜りますことを心よりお願い申し上げます。